

図書館だより

2014年5月29日
図書委員会

5月30日はごみゼロの日という、日本で美化活動とともに、ごみの減量化と再資源化を認識してもらう活動を実施するための記念日です。「ご(5)、み(3)、ゼロ(0)」の語呂合わせから来ています。

みなさんはポイ捨てなんて、してませんか??



第60回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

2014年中学生の部の課題図書は以下の3冊です。

富中図書室では3冊ずつ用意します。

星空ロック (那須田淳)

中学2年の夏休み、少年レオは家族3人でドイツを旅する…はずだった。先に現地に行っていた父は盲腸炎になり、母は先に出発し、レオは一人でベルリンに向かうことになった。はじめての異国で一人ぼっちになったレオの珍道中が始まる。そんなレオには、実はひそかな目的があった。

大人への階段をのぼる少年の姿が描かれた、レオの成長物語。



語りつぐ者



パトリシア・ライリー・ギフ
もりうち すみこ 訳

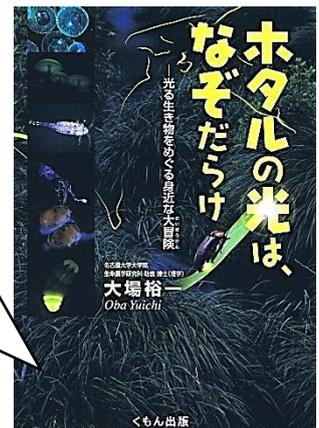
語りつぐ者 (パトリシア・ライリー・ギフ)

エリザベスは母の死後にあずけられた叔母の家で、自分にそっくりな肖像画を見つける、というところから物語が動き出します。

その肖像画に描かれていた人物は自分の祖先で、21世紀のエリザベスと、18世紀のアメリカ独立戦争時代を生きた肖像画の祖先・ズィーの物語が交錯していく不思議な物語。

ホタルの光はなぞだらけ (大場裕一)

不思議な生き物は、ジャングルや深海など行くのが難しい場所で見つからないと思いませんか? しつは、身近な場所には不思議な生き物はたくさんいます。光るミミズに光るキノコなど、光るのはホタルだけじゃないんです。不思議な生き物の探し方や光る仕組みなど、不思議や疑問の答えはこの本に!



多読賞

多読賞とは、一年間にたくさん本を読んだ人と一番本を読んだクラスに贈られる賞のことです。昨年度に100冊以上読んだ人は6人、一番本を借りたクラスは1年3組で572冊でした。

たくさんの人に多読賞を目指してほしいですが、100冊なんて無理！という人は、一週間に1冊の本を借りる、この作家の本を読破するなど、自分自身の目標を立てて読書をしてみましょう。

本屋大賞

今年の本屋大賞『村上海賊の娘』をはじめ、ノミネートされた本を新しく用意しました！ここでは大賞の本とノミネートされた本を紹介します。

大賞・村上海賊の娘（和田竜）

時は戦国時代。和平が成立せず、織田信長に攻められる大阪の本願寺。海からの支援を求められた信長の敵である毛利家は、「海賊王」と呼ばれる村上武吉を頼ろうとする。その娘の景（きょう）は、海賊働きに没頭する、嫁の貰い手の無い女だった。

大河ドラマ「軍師官兵衛」と同じ時代。織田についての官兵衛とは逆に、毛利側の海賊の娘の史実に基づく歴史長編です。



ノミネート作品・島はぼくらと（辻村深月）

瀬戸内海の小さな島・冴島。伸びやかな少女の朱里。美人で気が強い漁業経営者の一人娘の衣花。父に連れられ東京からきた源樹。思うように演劇部の練習に出られない新。島に高校がないため、4人はフェリーで本土に通う。島を背負う大人たちの覚悟や、自らの淡い恋心…。故郷を旅立つ前に大切なことを知った。

今月のNDC

1年生の4月にオリエンテーションでやった日本十進分類法（NDC）を覚えていますか？本に書かれた内容によって0から9の10の分類に分けられます。この分類の仕方を日本十進分類法（NDC）といいます。



こんな本があります！

- ・調べ学習に便利な百科事典（『ポプラディア』など）
- ・時事情報を一冊にまとめた『朝日ジュニア学習年鑑』。受験生には一度読んでほしいです。
- ・世界一の記録をまとめた『ギネス世界記録』は読んでいて面白いですよ。